

目標達成計画

作成日: 平成 30年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
2	1	利用者個々の行きたい場所を聞き出せていない。(引き出せていない)	個別外出の充実。理念の再度落とし込み。	個々の外出したい場所を把握し企画、調整を行い実行する。	24ヶ月
3	13	入居者の接遇について改善の余地がある。	職員のスキルアップ。	自己評価・自己の目標設定し目標達成に向けて取り組む。また一年間を通して内部研修を行い、研修を通じて認知症の理解を深め、接遇の改善に繋げる。	24ヶ月
4	38 ・ 49	理念の再確認。	理念の再度落とし込み。	一年に一回会議等で理念の見直しを行う。	24ヶ月
5	35	ホーム近隣の方に訓練日のお知らせと参加の呼びかけが出来ていない。	災害対策の充実。	昼間想定消防訓練2ヶ月前よりホーム近隣の方に訓練日のお知らせを行い、併せて参加いただける方や見学者を集う。	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	腰痛で悩むスタッフが多くなってきている。	腰痛なく介助が行えるよう、介護技術の見直しと向上を図っていく。	介護技術面について改めて勉強会を実施し、補助具なども取り入れながら腰痛なく介助出来る様、介護技術の向上に取り組んでいく。 又自己管理も含め、身体ケア、腰痛の予防に努めていく。	24ヶ月
2	29	地域との関わりがマンネリ化している。	地域との関わりのネットワークを広げる。	地域の年中行事(だんじり含む)などに参加すると共に、近隣で行き付けの場所や人との関わりあいを見つけ増やしていく。	24ヶ月
3	13	毎月、カンファレンスやミーティング行い意見交換や情報共有図っているが、業務の中では、お互いの思いをゆっくり話(相談等)することがうまく行なえない為、談話する機会を作る必要がある。	スタッフ間での情報の共有とケアの統一化を図ると共に、スタッフ同士の親睦を深めていく。	定期的に親睦会を開催し各々が意見や思いを言い(伝え)合える場を作り、交流(親睦)を深め会話を増やすことで、個人で悩みを溜めこまず、円滑な業務体制、支援に繋げていけるよう努めていく。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。